

平田出張所便り

第7号(8月9日版)

梅雨期の出水状況

出雲河川事務所では、斐伊川の出水期（6月26日～10月20日まで）を迎え、梅雨前線や台風襲来による河川の増水に備えて、被害防止に必要な様々な体制を整えていますが、梅雨の末期の7月14日から15日に掛けて、やや大きな出水がありましたので、その時の河川の状況を紹介します。

水位観測所のうち、木次と大津と灘分の3地点で、**水位危険度レベル1の水防団待機水位**を越え、灘分においては、**レベル2のはん濫注意水位(以前の警戒水位)**をわずかながら突破する事態となりました。

幸い上流域での降雨が収まったため、中・下流域での増水による被害等は発生しませんでした。



下熊谷橋（雲南市木次町）



木次床止め工（雲南市木次町）



給下床止め工（雲南市三刀屋町）



神立橋（出雲市大津）



井上橋（斐川町井上）



平常時の状況



砂堰の流失

斐川統合樋門付近（斐川町今在家）



西代橋の上流左岸（出雲市西代町）



瑞穂橋の上流左岸（出雲市灘分町）



はん濫注意水位（警戒水位）を越える



島村橋（対岸：出雲市島村町）



平常時の状況

～ 担当者からのひとこと ～

梅雨明け以降連日猛暑が続いていますが、局地的なゲリラ豪雨や台風等による出水も考えられます。大雨で河川が増水した時は、大変危険ですので水辺に近づかないように注意して下さい。